

## PRESS RELEASE

## 市民公開講座「はじめての妊活・不妊治療」開催します

### “4.4組に1組”が経験する不妊治療を、もっと身近に @常滑市



過去の市民公開講座の様子

近年、日本では不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦は「4.4組に1組」とされ、不妊治療は誰にとっても身近な医療となりつつあります。また、体外受精などの生殖補助医療によって生まれる子どもは“約14人に1人”にのぼるなど、不妊治療は社会を支える医療のひとつとなっています。

一方で、「何から始めればよいかわからない」「治療内容のイメージが湧かない」「周囲に相談しづらい」といった不安や心理的ハードルは依然として高く、正しい情報に触れる機会を求める声も増えています。

こうした背景を受け、本講座では、妊活や不妊治療の基礎知識から、体外受精の仕組み、妊娠・出産・子育てに関する内容まで、医師・胚培養士・保健師がわかりやすく解説します。

さらに今回は、実際に当院で不妊治療を経験された方への質問コーナーを実施。治療中の気持ちや悩み、向き合い方など、“経験者だからこそ話せるリアルな声”を聞くことができます。

また、希望者を対象に、普段は見ることのできない「培養室」の見学も行います。培養室は、体外受精において受精卵を大切に管理・培養する重要な場所であり、不妊治療を支える“命の現場”ともいえる空間です。胚培養士による説明を交えながら、実際の現場をご覧いただくことで、不妊治療への理解をより深めていただく機会とします。

知多半島総合医療機構では、本講座を通じて、「知らないから不安」を減らし、地域で妊活や子育てを考える方々が、自分らしい選択につなげられる環境づくりを目指します。

【日 時】 2026年6月27日（土） 14:00～16:00

【場 所】 知多半島りんくう病院 とこなめホール

【参加者】 妊活・不妊治療を考えている方、治療中の方、将来に向けて情報を得ておきたい方

【内 容】 「不妊治療、何からはじめる？」 講師：婦人科医師 笠原 幸代

「のぞいてみよう！体外受精の舞台裏」 講師：胚培養士 當仲 正文

「妊娠から、出産、そして子育てへ」 講師：常滑市保健センター 保健師 杉藤 真由美

・治療経験者への質問コーナー

・培養室見学（希望者のみ）

【その他】 ※参加者の顔の撮影は、ご本人との相談になります。

※取材に来られる際は、事前に下記までご連絡ください。

事前連絡・お問い合わせ先

地方独立行政法人知多半島総合医療機構

経営企画課 企画・財政係 担当:福岡

☎ 0569-89-0515(内線2932)

✉ kikaku.zaisei@chitahantogmo.or.jp